



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	札幌しらかば台篠路病院	階数	地上6階塔屋1階
建設地	北区篠路5条8丁目214-1、209-8、217-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居専用地域	平均居住人員	385 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2021年9月 予定	評価の段階	
敷地面積	5,870 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2020年5月22日
建築面積	1,429 m <sup>2</sup>	作成者	
延床面積	8,405 m <sup>2</sup>	確認日	2020年5月28日
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 83% (152 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外のオンサイト手法 83% (152 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+オフサイト手法 83% (152 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価  
建物全体の[BEEI][BEIm]= 0.80

### 2-5 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>自然環境に配慮した、建物機能の向上を目指すと同時に、地球環境及び近隣に配慮した建築計画とする。中央監視設備により、電力量・給水量・ガス量の計測を行い、エネルギー利用や運用に関する最適化の検討を支援する計画とした。</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>高効率空気熱源ヒートポンプチャラーによる外気処理の採用や、Low-Eペアガラス+断熱サッシの選定により、熱負荷低減に配慮した。照明器具は全てLED光源の器具を採用することで照明電力の削減を行う。また、照明制御については各階廊下・トイレ・階段室に人感センサー制御を採用した。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>スパンと階高の合理的な構造計画とすることで、躯体・仕上りに使用する資材の低減を図った。外装材は耐久性の高い材料とした。</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>「札幌市緑の保全と創出に関する条例」の許可基準に基づいた植栽計画とし、周囲の街路樹と連携することで、地球環境負荷の低減を同時に取り組んだ。</p>
	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>緑地の一部を堆雪スペースとして利用できるように配慮した。また、除雪車が効率よく除排雪ができるよう、建物廻りを1周できるように、駐車場や車路を計画した。</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用	
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-
BELS認証	-
LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

**CASBEE札幌2016(ver.1.4)**  
**札幌しらかば台線路病院**

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0  
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体			
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.5</b>			
<b>Q1 室内環境</b>			0.40	-	-	<b>3.3</b>			
<b>1 音環境</b>		2.8	0.15	2.6	1.00	2.6			
1.1 室内騒音レベル		評価する取り組みに対応している。				4.0	0.40	3.0	0.40
1.2 遮音		T-2等級のサッシを採用している。				2.6	0.40	3.0	0.40
1 開口部遮音性能		5.0	0.40	5.0	0.30				
2 界壁遮音性能		1.0	0.60	1.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
<b>2 温熱環境</b>		3.3	0.35	3.0	1.00	3.1			
2.1 室温制御		評価する取り組みに対応している。				3.7	0.50	3.0	0.50
1 室温		3.0	0.38	-	-				
2 外皮性能	省エネ	3.0	0.25	3.0	1.00				
3 ゾーン別制御性		5.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		2.6	0.25	3.5	1.00	3.2			
3.1 昼光利用		評価する取り組みに対応している。				2.4	0.30	3.0	0.30
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	0.60				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備	省エネ	3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		評価する取り組みに対応している。				2.0	0.30	3.0	0.30
1 昼光制御	省エネ	2.0	1.00	3.0	1.00				
2 映り込み対策			-		-				
3.3 照度		評価する取り組みに対応している。				4.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御		評価する取り組みに対応している。				3.0	0.25	5.0	0.25
<b>4 空気質環境</b>		4.6	0.25	4.2	1.00	4.3			
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆を90%以上使用する計画である。				5.0	0.63	5.0	0.63
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00				
4.2 換気		評価する取り組みに対応している。				4.0	0.38	3.0	0.38
1 換気量		5.0	0.50	5.0	0.33				
2 自然換気性能			-	1.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		評価する取り組みに対応している。				3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-				
2 喫煙の制御		-	-		-				

Q2 サービス性能			0.30	-	-	3.9	
<b>1 機能性</b>			<b>4.6</b>	0.40	<b>4.8</b>	1.00	<b>4.7</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>4.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1	広さ・収納性	評価する取り組みに対応している。		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-		-	
3	バリアフリー計画	特別特定建築物に該当し、建築物移動等円滑化基準に適合している。	4.0	1.00		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>5.0</b>	0.30	<b>4.5</b>	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)	天井高さは2.5m確保している		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-		-	
3	内装計画	インテリアバースでの事前検証がなされている。	5.0	1.00	5.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>			<b>5.0</b>	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計	防汚性に優れた仕上材を採用している。	5.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保	共用部からの維持管理が可能。	5.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.1</b>	0.30		-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.2</b>	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源 評価する取り組みに対応している。	4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備	評価する取り組みに対応している。	5.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	評価する取り組みに対応している。	4.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.5</b>	0.30	<b>3.7</b>	1.00	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				<b>4.4</b>	0.30	<b>4.4</b>	0.50	
1	階高のゆとり		主要室に必要とされる、十分な階高を確保している。	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		(壁長さ比率) = 0.02 < 0.1 で評価する取り組みに対応している。	5.0	0.40	5.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.2</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		躯体や仕上材を傷めずに更新可能	4.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>緑化</b>		<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>緑化</b>	周辺の街並みや風景にバランス良く調和させている。	<b>5.0</b>	0.40		-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	<b>雪処理</b>		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	<b>省資源 緑化</b>		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-		-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>省エネ</b>	断熱設計により配慮した	<b>4.7</b>	0.20		-	<b>4.7</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>省エネ</b>		<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		<b>省エネ</b>	[BEI][BEIm] = 0.80 -	<b>3.0</b>	0.50		-	<b>3.0</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング	<b>省エネ</b>	評価する取り組みに対応している。	4.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	<b>省エネ</b>		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-		-	
4.1	モニタリング	<b>省エネ</b>			-		-	
4.2	運用管理体制	<b>省エネ</b>			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
1.1 節水				<b>3.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>2.9</b>	0.60		-	<b>2.9</b>
2.1 材料使用量の削減		<b>省資源</b>		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		<b>省資源</b>		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		<b>省資源</b>	高炉セメントや電炉鉄筋を採用した。	5.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		<b>省資源</b>		1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		<b>省資源</b>		3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		<b>省資源</b>		3.0	0.20		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆規格品を採用。	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	省資源	Low-Eペアガラスの使用による熱損失抑制。 LED照明を主体とした照明計画によるエネルギーの効率化。	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 数値 算出		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源	地下ピット内に雨水貯留槽を設置し、場内の雨水流出抑制を図っている。	4.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3 交通負荷抑制		評価する取り組みに対応している。	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 算処理	ゴミの分別回収促進、効率的な除排雪のための空間の整備を行っている。	5.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制			2.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

<b>1 建物概要</b>		BEE	1.4	BEEランク	B+
建物名称	札幌しらかば台篠路病院				
建物用途	病院.				
延床面積	8,405.2 m <sup>2</sup>				

<b>2 重点項目への取り組み</b>		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 <b>省エネルギー</b>	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★★★	

<b>3. 重点項目のCASBEEスコア</b>							
<b>A 省エネルギー</b>	( 最高点 23.1 最低点 6.6 )			<b>合計</b>	<b>15.0点</b>	／23.1点	
Q1 温熱環境	スコア	0.6	／1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.8	／4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.0	／2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	／2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.0	／10.0
				LR1 効率的運用	スコア	2.4	／4.0
<b>B 省資源等</b>	( 最高点 23.9 最低点 7.7 )			<b>合計</b>	<b>15.2点</b>	／23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.2	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	／2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3	／1.9
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.6	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	3.0	／4.6
<b>C 緑化</b>	( 最高点 15.3 最低点 3.1 )			<b>合計</b>	<b>10.7点</b>	／15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.8	／4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	6.0	／6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	／2.3				
<b>D 雪処理</b>	( 最高点 3.0 最低点 0 )			<b>合計</b>	<b>3.0点</b>	／3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■重点項目の**最高**点は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数  
 ■重点項目の**最低**点は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数